

2024年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

持続可能な農業への貢献

安定的な原料でん菜の確保

気候変動に対応したでん菜の栽培技術・品種の開発

- ◆主な取り組み
- ・高糖分型耐病性品種の開発
  - ・植物内生菌（エンドファイト）を利用した栽培技術の開発

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
需要に応じた新品種の普及 後継品種の開発	優良品種登録や実用化に向けた 試験を開始	優良品種登録や実用化に向けた 北海道の公式試験へ供試	○
植物内生菌（エンドファイト）を利用した 栽培技術普及に向けた試験栽培開始	耐暑性の評価に向けた栽培試験を開始	当社試験圃場において耐暑性の評価に 向けた栽培試験を実施	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

減農薬・減肥料・スマート農業

原料でん菜における減農薬・減肥料・スマート農業等による省人省力化

減肥料・減農薬・省人省力化に繋がるでん菜品種や栽培技術の導入を図る

- ◆主な取り組み
- ・直播導入の推進による化学肥料施肥量の削減
  - ・除草時間短縮に寄与する除草剤耐性品種の導入
  - ・病害抵抗性の高い品種の導入と抵抗性を活用した防除体系の導入

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
①化学肥料施用量削減率10％（2016年度比） ②農薬使用量削減率10％（2019年度比） ③耕起・防除・除草に関わる 投下労働時間削減率20％（2019年度比） ④栽培における炭酸ガス 直接排出量削減率6％（2019年度比）	① 3％ ② 1％ ③ 3％ ④ 2％	① 3％ ② 1％ ③ 3％ ④ 2％	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

当社の研究部門により開発された農業資機材の普及により、農業の省人省力省作業化を図る

- ◆主な取り組み
- ・トラクタ装着型の ひっぱりくん® の拡販により、苗や球根の植付労力を削減
  - ・ビート移植機を応用した野菜作への紙筒利用

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
トラクタ装着型の ひっぱりくん® 販売 100台（累計600台）	45台	69台(累計175台)	◎
ビート移植機を応用した野菜作への紙筒利用 4,000ケース	国内試験機関との サツマイモ栽培試験開始	農総研にて、PPサツマイモ栽培 試験実施	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

## 2024年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

### てん菜を原料とした用途開発・新製品の開発

『持続可能なてん菜産業』実現のため、CO<sub>2</sub>吸収能力の高いてん菜を原料とした用途開発・新製品の開発

#### ◆主な取り組み

- ・バイオリファイナリー研究

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
事業拡大	共同研究実施	複数の相手先と共同研究実施	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

### 有機農業への貢献

有機農業を視野に入れた製品群・栽培方法の開発・製造、国内外への普及

#### ◆主な取り組み

- ・「ニッテン液肥GB」の新用途開発、販売先・販売ルートの拡大、その他有機資材対応商品の開発販売
- ・「チェーンボット」等 有機対応紙筒の欧州の企業との共同開発、有機認証の取得

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
「ニッテン液肥GB」の国内外販売数量 80 t	38 t	35.8 t	△
「チェーンボット」等の 国内有機農業資材認証の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新素材を使用した有機資材の欧州や米国への供試、国内試験機関との有機栽培試験開始</li> <li>・アンバサダーによる有機栽培顧問契約による現地推進開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新素材を使用した有機資材の欧州への供試開始(米国は認証取得)、茨城県試験機関との有機栽培試験開始</li> <li>・米国アンバサダーによる有機栽培顧問契約による現地推進開始</li> </ul>	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

### 牛の長命連産

牛の健康に良い飼料、牛の長命連産を可能にする飼料の開発・製造

#### ◆主な取り組み

- ・新製品開発
- ・開発研究成果を公表(学会発表/特許取得等)

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
4製品以上の上市 (2023年度～2030年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度にリリースした1製品(ヘルスメルZ's)の拡販</li> <li>・畜産学会/獣医学会での成果発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスメルZ'sの拡販実施中</li> <li>・日本畜産学会、日本獣医師会で成果を発表</li> </ul>	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い